

県下の交通事故(12月5日現在)

区分 年別	発生件数	死者	傷者
平成1年	4971件	105人	6595人
" 2年	4703件	108人	6187人
比較	-5.4%	+2.9%	-6.2%



◇ 第90号 ◇
発行所
〒400 甲府市丸の内一丁目9-11
県民会館2階
財団法人 山梨県交通安全協会
TEL 甲府 (0552) 32-4682
(0552) 37-7827

交通事故防止県民運動

12月10日～1月10日

みんなそろって無事故の正月

年末年始は、交通が混雑し、あわただしさも加わるほか飲酒の機会も多く、など事故の原因となる条件が重なり、交通事故の多発が懸念されます。県民すべてが交通安全について一層の理解と関心を深め、正しい交通ルールとマナーを実践し事故を防止するために、県交通安全対策本部と県交通安全推進協議会の主催で「年末年始の交通事故防止県民運動」が十二月十日から一月十日まで実施されます。県内の交通事故による死者は、十月十日現在で百二十一人、二桁で抑えようとの県民の願いも空しく、今年も厳しい状況が続いております。これ以上死者を出さないために県民あわせてこの運動に取り組み、事故防止に努めましょう。

家庭・職場・地域で 事故防止の話し合い

- 運動の重点**
- 一、飲酒運転の絶滅
 推進事項
 (1)飲酒運転の危険性や事故責任の重大さについての家庭、職場、地域での話し合い
 (2)酒類提供業者の協力による飲酒運転の抑止
 (3)飲酒運転四ない運動(運転するなら飲まない、運転する人には飲ませない)
- 二、子供と高齢者の交通事故防止
 推進事項
 (1)街頭における保護・誘導、啓発活動の強化
 (2)園児・児童・生徒の冬休み中における交通安全の徹底
 (3)自転車の正しい乗り方指導徹底と三ツカ運動



安全のために
 深夜もの凄く爆音を立てながら市街地を走り回る暴走族に、安眠を妨げられるなど大きな被害を受けていた人は大勢居ることを思っています。事実、県警の一番指令室には年間五百件を超える苦情が寄せられています。

最近では、土曜の夜だけでなくウィークデーにも出没するようになってきています。

暴走族は、現在全国で約三万五千人と言われ、年齢も二十歳未満の少年が八割も占めています。本県では現在十グループ約四百四十人と推定され、中には暴力団が関与している者も約三十人が把握されています。また、県内で十月末までに検挙・補導された暴走族は、グループ未加入者や、いわゆるナンパ族等を含め千三百三十四人で、押収された車両も百七十七台という数

- (ライト、後部反射、ペダル)の推進
 (4)正しい道路横断方法の指導と夜間歩行の反射材着用の促進
 (5)高齢運転者に対する安全運転の徹底と運転適性診断の推進
- 三、若年運転者の無謀運転の追放
 推進事項
 (1)家庭、職場、地域における安全運転の指導徹底
 (2)免許取得時、免許更新時等における安全運転講習の強化
 (3)無車検・無保険及び整備不良車両の掃蕩
 (4)暴走族の追放とヤング

暴走族を追放しよう

交通指導課長 望月 虎雄



にのぼっています。最近の暴走族は、警察官の停止指示に従わないばかりか、ナンパを取り外したり、覆面をしたりして集団で暴走し、パトカー等の取締りを逃れるために、或いは証拠の写真やビデオ等を撮れないように「ケツモチ」と称する最後の主として二輪車が進路をジグザグに進行しながらパトカーの進路を妨害したり、鉄パイプ、木刀、石等を携行して警察官に立向ってきたり、投石をするなどの極めて危険な行為をエスカレートさせています。

本県では、本年五月に暴走族取締り中の警察官が、暴走少年の二輪車にはねられ殉職する事件が発生しました。

とした総合対策を協力に推進しています。県警では暴走族取締りのため、毎晩のように大勢の警察官を動員していますが、なかにはパトカーが現場へ走り去ってしまうというゲリラ的暴走族も多く、取締りも大変難しくなっています。しかし、警察とし

の管理社会の落し子であり、自分自身に位置づけたいための自己顕示の姿だ」とらゆる方法で激しい取締りを続けています。また、取締りだけではなく、この種暴走族は、暴力団員や暴走族に組織力があること、能力が強く、転じて大きな犯罪を引き起こすおそれがあるため、個別指導を行って

は、昨年四月には神奈川県下において一般市民が暴走行為を注意して暴走族に暴行を受けた死亡するというショッキングなニュースもありました。このような実態から警察では、「暴走族の個別的指導」「暴走族を許さない社会環境づくり」の二本柱を中心

一市町村一運動の推進
 (2)幼児から高齢者までの各年齢層に応じた交通安全教育の強化
 (3)職場ぐるみによる「ノーマイカー運動」「マイカー相乗り」の推進
 (4)道路交通環境の点検、整備の推進
 (5)道路交通に関する情報の提供と効果的な広報活動の展開

平成3年 交通安全年間スローガン —最優秀作—

- 運転者(同乗者を含む)向け
のせましよう ゆとりという名の 同乗者
- 歩行者・自転車利用者向け
車社会 歩くあなたも その一人
- 子どもからの募集
かえり道 あぶないかけこ ふやけこ

交差点

過日開催された第三十二回山梨県中学生交通安全弁論大会の審査員として、久し振りに中学生の真摯な訴えに耳を傾けました。いつもながらの熱弁に感動させられました。そして多くの中学生がいやいや県民に聴いてもらいたくないと感じたのは私一人ではなかったと思います。十七人の弁論を聴き終った時、私は改めて声を大に訴えたい衝動に駆られました。それは十七人の弁士のうち、なんと十人までが自分自身の、また親兄弟、身の内の、さらに極く身近の友の事故体験、事故事例を弁論の中で発表していたことです。もちろん各弁士も強調していましたが、私も訴えたいのは、自分だけは事故にあわない、事故は他人事だという安易な気持ちで行動している人がなんと多いことか、それがそのまま事故多発の原因となつていく、十人の中学生は自己の体験、経験からそれを強く訴えているということです。

最近、安全運転の講習などで、安易な予測による「だろ、運転」でなく、常に危険を予測した「かも知れない運転」に徹することが事故防止の要諦だとよくいわれます。私も三昔も前に運転免許の行政処分者講習を受けた時、同じような話をした記憶があります。が、運転者だけでなく交通の場にいる全ての人が「事故を起すまい、事故にあらうような危険な行動はしない」という「安全マインド」を行動の上でいつも実践して欲しいと思います。

光陰矢の如く、今年も「えびす講」も終わり街は歳末風景一色になります。どうかどなたも無事故で新年を送り、羊のように穏やかな新年を迎えようという祈りします。

交通安全功労者・優良運転者

480人と23団体表彰

優良賞は都留・葦崎・上野原安協

交通安全功労者・優良運転者

県警察本部と県交通安全協会主催の平成2年度交通安全功労者・優良運転者等表彰式は、十一月十五日、県民会館大ホールにおいて、望月幸明知事（代理新堀出納長）、白倉県議会議長、今井良児甲府地検検事正、武田辰男公安委員長ら来賓の臨席のもとに盛大に開催されました。

表彰式は、まず全員で交通安全功労者に追悼の黙とうを捧げて開会し、永見県警察本部長と中村太郎県安協会長があいさつし表彰が行われました。

受賞者は多年にわたり交通安全功労者に功績のあった交通安全功労者、長期にわたって効果的な交通安全活動を行ってきた団体・個人、日ごろ積極的に活動して事故防止に功労のあった交通安全協会や役員、永年無事故の優良運転者、多年職務に精励し功績のあった優良職員等の四八〇人、二三団体に表彰状と記念品を贈り、その功績をたたえました。

松田良一氏受賞

交通対策本部長
総務庁長官表彰



世界への願い交通安全
安全にまかす親が手本
心づけて正しく歩む

第24回交通安全写真コンテスト入賞者

県交通安全協会主催、山梨県警察本部、山梨日日新聞社、県交母連合会後援の第二十四回交通安全写真コンテストに本年は五十九点が出品されました。

九月二十九日審査の結果、最優秀賞一点、金賞三点、銀賞四点、銅賞四点、佳作五点を決定し、入賞者には

賞状、賞金、応募者全員に記念品が贈られました。応募作品は、交通安全の啓蒙や広報紙（誌）などに活用され、交通安全の啓蒙に役立っています。また一般への貸し出しもいたします。ご利用ください。

入賞者は次のとおりです。
（最優秀賞）齊藤一幸（勝形）
（佳作）県警高連隊、城下勝利（石和）、依田虎雄（櫛形）
（銀賞）宮川淳三（甲府）

総務庁は、九月二十六日東京都十代区の新町クリンパレスで、全国の交通安全功労者個人十七人と三団体に交通安全功労者表彰（総務庁長官）表彰を行いました。

本県では、県安協理事、小笠原安協会長の松田良一氏（中巨摩郡白根町百々）が表彰されました。

松田氏は、昭和二十九年四月小笠原安協評議員に就任以来今日まで三十六年余の間、安協の育成と事業推進に尽力し、昭和六十一年

山梨県警察本部よりお知らせ

毎年年末年始は運転免許の更新手続きをされる方が多いため免許交付の窓口が大変混雑します。

運転免許の更新は誕生日の一月前日から手続きが出来ますので早目に更新手続きをすませ、年末年始はなるべく避けるようにしてください。



また十二月二十九日翌一月三日の間は休みになりますので更新手続きはできません。もしこの期間中に誕生日がある方は更新手続きができません。更新手続きは、必ず更新日を前八時三十分、午後二時です。

（運転免許課）

- （交通安全功労者）
甲府市琢美交通少年団（交通安全優良事業所）
富士急行株式会社
（優良運転者）
川住光明、五味修治、飯野長重、榎林晴高、三井正樹、岸澤守男、名取幸徳、湯島崎昇一、佐藤嘉太郎、湯山恒夫、和智栄治
（交通安全功労者）
市川武文、鈴木光三、樋口辰雄、保坂輝行、浅川初雄、千野武男、渡辺三千男、中沢種里、林博、山本祐也、清水長雄、高石茂則、小沢春義、五味勇、駒井幸子、仁科孝男、海野松雄、石井保博、笠井郁男、笠井好孝、渡辺利克、佐藤賢、児玉久保島康典、三枝力、星野清中村利八、内藤要、藤江栄一、越登、廣瀬宏平、藤江栄一、上原一洋、大森長吉、古屋明久、三浦康夫、小林直人、天野恭、天野茂男、小沢博房、飯島叶、岩間美穂子。
（優良交通安全功労者）
深沢正男、加藤博、森本守男、井出成言、八木勝、中嶋達也。
（優良運転者）
佐野大、望月芳治、名取好弘、石川三朗、望月孝昭、井上伸干、泉昌夫、小野康男、野口寿彦、瀧美等、大杉公和、深澤今朝七、芦沢一丸、辻武邦、小林五重、藤巻守、清水水久、野本大仁、横森徳秋、秋山進、遠藤正二郎、望月重義、小森、近藤家保、若林孝治、長倉信三、望月重義、佐久間保子、斎藤富雄、森沢哲夫、小田切作平、鶴田利男、竹川環、神宮守英、井上二郎、土屋菊雄、坂本和恵、滝川智子、北村忠義、佐藤猛、渡邊洋、大森長吉、萱沼利明、朝比奈利文、平井勝紀、小高金久、小林余介、萩原栄、上條弘行、小保恭、末木松夫、大久保久長田桂、望月利夫、宮本秀夫、堀内恵治、清水進、長田佑次、久根口実。
（優良交通安全協会）
野原（努力賞）長坂、塩山、市川。
（創意賞）飯沢
（交通安全功労者）
望月省吾、窪田和也、柴田照國、伊東今朝次、小林弘男、矢崎金丸、藤原美良、山本英雄、上村七五三、上松文男、山本一美、中村光行、森越寿一、宮川節夫、望月朝雄、大塩諒、武川博夫、佐野陽一、望月薫、松浦茂己、依田善次、佐野あさ子、鍋田達、渡辺公夫、谷口昌、保坂正美、斎藤盛、玉木旭、梯孝夫、雨宮梅子、佐藤敏男、畑野靖夫、星野澄子、渡辺正、廣瀬一男、河野勝、手塚信男、丸山光則、中村寿仁、宿沢秋雄、橋爪進、望月進、萩原村男、村田光博、井上満、天野博、藤江三男、渡辺雄一、三井正清、渡辺丸丸、流石熊男、清水孝根、宮下啓司、渡辺一雄、渡辺卓也、中野豪、大森明久、志村仁、杉本初男、小林昭夫、小俣俊雄、柴田勇、梶原信次、森山孝二、小俣市三、石井幸、藤久、細川波男、船木直一。
（優良運転者）
有賀照雄ほか二五五名
（優良職員）
酒井澄男ほか三名

二輪車指導員が指導要領を研修

二輪車安全推進委員会（金谷信雄委員長）は、十月二十八日、八田村の運転免許センターで二輪車安全推進指導員講習会を開きました。この講習会は、毎年指導員の資質の向上を図り、適正な実技指導ができることを目標に実施しているものです。今年も、この講習会では、原付免許取得者に対する技能講習の見直しを重点に行われました。

参加した一七七人の指導員等は、指導員と準指導員にわかれて、学科講習では、県警幹部や特別指導員による二輪車交通事故例や危険予備と安全運転、指導員の構え等の講義を受け、技能講習では、経験豊富な特別指導員により実技指導要領を熱心に受講しました。

閉講式では、日ごろ原付講習、高校生講習に尽力している次の五名が優良指導員として県二推委員長表彰を受けました。

新編購入 映画の紹介

一、悲しみの涙は限りなく
16ミリ、カラー、30分
若年運転者向
このところ若者の死亡事故がふえていること、そしてそのおかげに、事故へ走る現代の若者気質、運転技能などが深くかかわっていること、しかも経済力が弱く、加害者、被害者は勿論、その家族をも巻きこんでいく。この映画は、こうした事故現場の生々しい報告をもとにドラマ化したもので、交通事故とそれによって引き起こされる悲劇をしっかりと見据え運転する者に強い警告を与えています。

自動車や原付自転車には必ず任意の損害保険をかける。損害保険代理店 株式会社たいよう共済山梨支店

甲府市丸の内2丁目32-13
TEL 0552-28-0691

- 二、明日は我が身の恐怖
16ミリ、カラー、28分
運転者向
交通事故の実態を国道4号、6号、16号を中心に取材し、これを防ぐには単に建前として道交法を順守するのではなく、不用意な「だらう運転」から隠れた危険を読みとる「かも知れない運転」すなわち防衛運転に脱皮することを強く訴えています。
- 三、内海桂子・好江
お年寄りの交通安全
16ミリ、カラー、23分
高齢者向
お年寄りが不幸な交通事故の被害者とならないことを願いながら、お年寄り自らが安全を考え、行動することの大切さを内海桂子・好江の出演と解説で、たのしく、わかりやすく訴えています。
- 四、ほくとおじいちゃん
の交通安全
16ミリ、カラー、27分
幼児、高齢者向
車社会といわれる今日、交通事故は依然、幼児やお年寄りなど、交通弱者に大きな被害をもたらしています。この映画は高齢者とお母さんに、明るいホームドラマの中で、幼児とお年寄りの交通安全のポイントを楽しく理解してもらおうという意図で作られています。

交通事故ゼロの願いをこめて、平成三年に使用する「交通安全年間スローガン」が決まりました。三部門の最優秀作品(一面掲載)と総務庁長官賞、警察庁長官賞、文部大臣奨励賞及び佳作は次のとおりです。このスローガンを行動に移し、交通安全運動を大きく前進させたいものです。

総務庁長官賞

◆運転者(同乗者を含む)向け
乗せるたび 子もおしえる 安全運転

◆歩行者・自転車利用者に対するもの
あせらずに 見る待つゆずる よい習慣

◆子どもからの募集
あがる手が ぼくらのこうつうめんきょしょう

◆警察庁長官賞
◆運転者(同乗者を含む)向け
軽い気持ちの駐停車 思わぬ迷惑 事故のもと

◆歩行者・自転車利用者に対するもの
危険です 見たはず 来ぬはず 止まるはず

◆子どもからの募集
てんめつは急げじゃなくて 止まれるのじゅんぴ

◆文部大臣奨励賞
◆子どもからの募集
いってきます きょうもまもるぞ こうつうマナー

平成二年交通安全年間スローガン

佳作(全日本交通安全協会会長賞)

◆運転者(同乗者を含む)向け
幼な子の 視界さえぎる 迷惑駐車

◆歩行者・自転車利用者に対するもの
あせる君 はやるあなたに 迫る事故

◆子どもからの募集
スピード落とそう もう少し 夜なか 町なか

◆警察庁長官賞
スピードで こわすな青春 未来の夢を

◆歩行者・自転車利用者に対するもの
あげた手に 車慮える 無事故の輪

◆子どもからの募集
危険です! 無灯火 ベルなし 飛ばし過ぎ

◆子どもからの募集
急いでよ ゆっくり行っても ちょっとの差

◆子どもからの募集
交差点 まだだいいじょうぶは もうあぶない

◆子どもからの募集
安全は 注意 注意の 積み重ね

◆子どもからの募集
あわてるな 心のしんごう 今一度

◆子どもからの募集
とうげこう きもちはいとも しんにゅうせい

◆子どもからの募集
こそこそ赤でわたるより こにこ青でわたるより

小野智恵子さん(西桂中)が優勝

—地区代表17人が熱い訴え—

第32回県中学生交通安全弁論大会

第三十二回山梨県中学生交通安全弁論大会(県交通安全協会、NHK甲府放送局、交通山梨新聞社主催)が十月三十日、甲府市飯田第三目的NHK甲府放送局第一スタジオで開催された。大会には、県内各地区の予選大会で代表となった十



七人の中学生弁士が出場し七分の持ち時間で、自分や家族さらに友人の事故事例や日常生活を通して交通安全について考えていることなど中学生の立場から交通安全を真剣に訴え、論旨や表現力に向上が目立っていました。

審査の結果「心のゆとり」と思いやり(別掲)と題して交通安全の心構えを強く訴えた西桂中三年、小野智恵子さんが優勝し、優勝旗と知事賞を受けました。受賞者は次のとおりです。

【優勝】 小野智恵子
【知事賞】 小野智恵子
【準優勝】 宮崎あゆみ
【県議長賞】 宮崎あゆみ
【大月東】 〇県警本部長賞 日向由里(久那土)
【県教育長賞】 戸田光一(増穂)
【優秀賞】 以下出場順
松本由紀(下山) 神崎喜美江(長坂) 篠原かおり(明野) 財前ユミ(竜王) 進藤崇(敷島) 上野恵(敷島) 堀内裕江(山梨北) 矢花美帆(石和) 近藤美世子(巖) 渡辺智美(吉田) 三森智恵(勝沼)

心のゆとりと思いやり

西桂中三年 小野 智恵子



最近、急ブレーキの音をよく聞きます。「キキッ」。そして、私は、この音を聞くたびに、今でも、あの日の恐ろしい出来事を思い出します。

もう、五年も前の出来事です。私は、小学校五年生でした。交通ルールが守れず、自転車で急な飛び出しをしてしまったのです。信号機は、青色が点滅して止まっていた。いつもなら、止まって次の青を待つのですが、「早く友達の家に行きたい」という気のせいか、「大丈夫だ」と、ついスリッパの音だけが耳に聞こえ、私は、一体何が起こったのか分かりませんでした。気がつくとき、さきほどの位置から二メートルも離れた場所に、飛ばされたのです。

「痛い!」その時、急に激痛を感じました。飛ばされた勢いで立ちました。飛ばされた勢いで立ちました。飛ばされた勢いで立ちました。

大きな原因になっていると思います。今、警察をはじめ、各市町村の交通安全協会の人達から、シートベルト着用を、訴えています。地道な呼びかけの成果により、四分の三が着用するようになり、車の事故では、四人に一人は助かっている、という記録を残しています。しかし、

自転車TSMマーク改正

新マーク導入し補償額拡大

早川純加(甲府西) 塩一 釜奈緒美(楯形)

自転車は便利な乗りものとして子供からお年寄りに至るまで広く利用されており、自転車の台数の増加に伴い自転車の交通事故が増加しています。これは交通ルールを守らない、整備不良のまま利用するなど安全に利用しないことによるものです。

道路交通法では、車両としての自転車のうち普通自転車の規格基準を定め、また、交通方法を特別に定めています。

自転車事故を防止するため自転車利用者に対しては自転車の整備を受けることを勧奨し、普通自転車としての整備基準に適合した自転車については、その旨を明示するため点検整備済標章として「TSMマーク」(交通安全マーク)を貼付



種別	現行 TSMマーク(第一種)	新 TSMマーク(第二種)	
補償	入院治療(31日以上)	1万円	10万円
補償	死亡・重度後遺障害	30万円	100万円
補償	賠償責任(限度額)	500万円	1,000万円

十月一日以降は、現行のTSMマーク(青色)を第一種点検整備済TSMマーク、新設のTSMマーク(赤色)を第二種点検整備済TSMマークと呼称していきます。形状、色彩等は第一種は従来の通りですが、新しい第二種は第一種TSMマークの約二倍で色は赤、反射機を用いています。

本県では、自転車商組合と管技協賛支所で協議し、当分の間第一種、第二種の二本立て取り扱ふことになりました。第一種、第二種TSMマークの比較は別表のとおりであり、また、TSMマークは別図のとおりです。

普通自転車点検整備済

賠償責任・傷害保険付
(点検日から1年間有効)
自転車安全整備士
点検 []年 []月 []日
現行TSMマーク(青)
(第一種)

賠償責任・傷害保険付(1年間有効)
自転車安全整備士番号
点検 []年 []月 []日
新TSMマーク(赤) (第二種)

地区だより

＝秋の交通安全運動＝

秋の交通安全運動は九月二十一日から三十日までの十日間全国一斉に行われました。高齢者や若者の事故防止を中心に運動が行われたのですが、期間中の県内の交通事故は発生九十九件、死者四人、傷者一〇二人で、昨年と比べると発生件数、傷者は減少したものの死者は二名増加し残念な結果となりました。全事故の内容をみると、車両相互の事故が大多数（七〇％）で追突、出合頭が多く、また十六歳から二十四歳の若者によって約三〇％の事故が起こされているのが目立ちます。運動期間中の各地区安協の活動の一端を写真でご紹介します。



—交通安全は家庭、職場、地域から—
交通安全宣言大会



—中央道の死亡事故絶無を願って—
高速安協の活動



おじちゃん安全運転をおねがいます！
保育園児のレター作戦



若者のライダー無事故を願って！
二輪車指導点検所



—町民こそって交通安全—
—長坂町セーフティ・フェア'90—



—暴走族・不正改造追放宣言—
自動車整備振興会東八支部



—高齢者の事故防止の先頭に立とう—
伝統ある櫛形老人大学交通安全講座



—信玄公も一役—



—シートベルト着用県下—をめざして—
敷島町



おともどももみんなで交通安全！
小学生交通安全ポスター展



—安全運転を呼びかけ—
琢美小交通少年団のレター作戦



二つとない生命を大切に！
—グッドライダー宣言 園芸高校—



—交通ルールは自転車から—
自転車交通安全教室 上野原小で



—知って守ろう！自転車のルール—
浅利小で自転車教室



平成の富士に誓って……
安全運動出発式



—熱心に勉強—
大和村高齢者交通安全講習会